

北海道山紀行・2016

● 7月27日（水）～ 7月28日（木） 出発・新潟からフェリーで北海道へ向かう

○ 今夜の出発に向けて朝から食料・飲料の買い物をして車に積み込み、昼過ぎには出発の準備も完了した。暑さの中の作業で汗まみれになったので、ジムの風呂でゆっくりと汗を流した。

・夜 10 時我が家を出発。例年の行事なので「じゃあ行ってくるよ」「気をつけてね」の会話を残し特に家内の見送りも無い。目の前の厚木 IC から高速に乗り、圏央道・関越道・北陸道を通って新潟西 IC で下りる。夜中の高速道路は車が少なくマイペースでのんびりと走れる。

途中の SA で何回も休憩を取り、黒崎 SA で仮眠をとって目が覚めたらもうすっかり夜が明けていた。

・6 時過ぎに新潟フェリーターミナルについて乗船の列についたが、前から 4 台目だ。夏休みなので車がいっぱいかと思ったら意外に少なかった。乗船予定が 9 時半からだからまだ 3 時間以上もある。朝食をとり車内で横になって過ごした。外は晴天猛暑。



・予定通り 9 時 45 分に乗船。

私の部屋はステート B452 号室。バス・トイレは無いが洗面所とテレビが設備されたツインルームを一人で使う。かなり割高で贅沢だが、今年が最後の旅になるかと思って奮発した。



- ・まずやることは風呂に行って夜行の疲れを流すこと。風呂も予想外にガラガラ、ゆっくりと入ることが出来た。サッポロクラシックを片手に後甲板に出て、クラシックを飲みながら、ドラの音とともに離れて行く港の岩壁に手を振る。



- ・部屋へ戻ってそのままベッドに入り寝る。これが毎年繰り返して来たパターンだ。夏の日本海は鏡のように穏やかで、船のエンジンの振動も音もなく実に静かで快適な航海。すっかり熟睡して目が覚めたら 14 時を過ぎていた。

ワインを飲みながら本を読んだりテレビを見たり、部屋の外に出て海をぼんやり眺めたり。



- ・夕食はレストランで生ビールと簡単な料理で済ませた。

8時半には就寝し、明日から始まろうとしている今年で 10 回目になる北海道山紀行に夢を馳せた。



● 7月29日（金） 雨 小樽から余市・ニッカウヰスキー工場見学

○ 3時半に始まった「皆さまおはようございます」の船内放送で目が覚めた。快適な船室と快適な航海ですっかり熟睡した。定刻通り4時過ぎに小樽港に接岸。4:40 に下船し小雨降る小樽に上陸した。

- ・小樽では毎年朝日を見ながら入港している記憶があり、雨の降る小樽に下りるのは初めてではないだろうか。フェリーターミナルに入ってこれからの行動を考えた。予定では今日積丹岳へ登るのだがこの雨では登れない。さてどうしよう。

- ・明日の天気を期待してこの周辺で停滞しよう。今夜はキロロの近くに最近できた道の駅「赤井川」に泊まろうと決めた。当初の計画と大幅な変更だ。雨はとうとう本降りになってきた。

- ・まず目の前にある天狗山へ行った。すっかり雨と霧に包まれ何も見えない。



旭展望台

そこで前にも来たことがある近くの旭展望台へ行ってみた。



雨に煙る小樽の街並が足元に広がる。フェリーターミナルには今朝下船したフェリー「ゆうかり」も見える。

- ・展望台のすぐ後ろには小林多喜二の文学碑が建つ小さな公園がある。以前にも来たことがあるがまた訪れた。

雨が強くなってきたので展望台を下り余市へと向かった。



小林多喜二文学碑

・余市の道の駅「スパ・スナップル余市」は相変わらずの佇まいだ。



ふと見ると道の駅の隣がニッカウヰスキーの工場（正式には「余市蒸留所」）だ。この駅は毎年のように寄っているが、隣の工場の存在には全く気がつかなかった。

「工場見学の案内」の看板が立っている。ニッカウヰスキーの余市工場といえばNHKの朝ドラマ「マッサン」の舞台だ。こりゃどうしても寄らなけりゃならない。

ここは工場の裏手になるので土砂降りの雨の中を工場の塀に沿って正門まで歩いた。

・正門で工場見学の受付を済ませ中へ入ると、テレビで見た懐かしい景色が展開してきた。



・創業当初に作った蒸留器やマッサンとリタが住んでいた家や事務等を見学し、ニッカ会館でウヰスキーの試飲をしたいところだったが、車の運転があるのでジューズをご馳走になった。雨の中だったがけっこう面白く懐かしく楽しい時間を過ごすことが出来た。



← リタの家



竹鶴とリタの肖像

- ・近くに特に行ってみたい所も無いので今夜泊まることにした道の駅「赤井川」へ向かった。道はキロロリゾートへ行く道と同じだ。小樽からキロロへは何回も行っているが余市から行くのは初めてかもしれない。距離にして10kmちょっと。12時過ぎには着いてしまった。ここは雨は殆ど降っていない。

時間があるので近くのキロロリゾートへ行ってみた。夏休みというのに閑散として寂しい感じ。ホテル・ピアノはトリビュートポートフォリオホテルと改名したようだがなんとなく静かで活気が感じられない。上の方にあるマウンテンホテルもシェラトンホテルになったようだがここも寂しい。夏のリゾートと云うよりも冬のスキーリゾートが目的のようだ。冬は賑わうのだろうか？

- ・道の駅「あかいがわ」は新しくできた駅なので綺麗で設備も良いが小さくて寂しい所にある。5時に駅が閉まった後は車がいなくなった。今夜泊まるのは私と多摩ナンバーの車の2台らしいぞ。天気予報では明日の降水確率は20~30%という。明日は積丹岳へ登ることにして、まだ明るいが6時過ぎに寝てしまった。

